

No.100

令和7年  
3月3日

あおい  
葵

X (旧 Twitter)



Instagram



都立青井高等学校 広報紙

# 広報紙「葵」100号目！！



広報紙「葵」第100号記念号に寄せて

校長 加藤 泰弘



本紙は私の2代前の校長が着任と同時に発刊した中学生や地域の皆さんに向けた広報紙です。平成27年(2015年)の創刊号以降、一年間に発行されたバックナンバーを読むと校長の挨拶に始まり、学校行事や部活動の紹介等、縦書きの紙面ということ以外、編集方針は変わっていません。写真も多用し、目に留まりやすく、読みやすい紙面を心掛けている点も同様です。

まる10年で100号。バックナンバーを読み進めると当時の本校の様子がありありと伝わってきます。特に令和2年度(2020年度)は新型コロナウイルスによる年度当初の休校、6月の学校再開(「分散登校」なんて言葉もありました)、体育祭、文化祭、修学旅行の中止など残念な話題ばかりにならざるを得ない中、感染対策を講じての特別活動や部活動等の明るい記事で紙面を埋めています。

やがて本紙は新規採用教員の研修を兼ねる場となっていきます。毎年必ずと言っていいほど複数の新規採用教員が配置される本校にとって、若手育成は重要な任務です。新規採用教員に編集を任せることで、自ら学校を知り、学び、考えるようになってほしいという意図のもと、本紙は作成されています。

本校を志望する中学生の数だけを見ると人気があるとはいえませんが、入学した生徒の満足度は常に80%以上をキープし続けています。多くの生徒は充実した学校生活を送っているということを、本紙を通じてこれからもお伝えしていきます。(意外に?)楽しい青井高校と青井高校の日常をお伝えする広報紙「葵」をこれからもどうぞよろしくお願いします。

## ●4名の生徒が海外派遣でエジプトへ



東京都が実施する海外派遣研修に、青井高校生4名(2年生2名・1年生2名)が参加しました！

世界の高校生等との交流や異なる文化に触れる体験を通じた「多文化共生社会の実現に向けた意識を醸成」をテーマに、4名はエジプトへ。現地では、小学校・高校・大学の授業見学、交流会、施設見学など毎日が充実した1日を過ごしていました。

現地ガイドや通訳がいましたが、大学訪問での学長挨拶、学生の自己紹介等はほとんど通訳がなかったり、ガイド役の現地学生が気さくに英語で話しかけてくれたりしますが、言語の壁はある模様。それでも、生徒はアプリや身振りを通して会話を楽しんでいました。

また、帰国後にも事後研修・報告会があり、校内報告会の中では4名のそれぞれの研究テーマなど詳しく話を聞くことができました。4名の皆さんには、多文化共生、異文化理解に向けて学習をさらに深めてほしいものです。



## ●2年生 修学旅行 沖縄へ



2年生が、2泊3日で沖縄へ修学旅行に行きました！初日は、旧海軍司令壕見学、平和祈念公園、ひめゆり平和祈念資料館と沖縄戦について学びました。2日目は、美ら海水族館見学後、民泊先へ行きそれぞれ沖縄の料理などを堪能し、最終日は、首里城、国際通りを見学しました。

多くの生徒から、民泊が印象深く残っているとのことでした。民泊先では、沖縄の音楽を聴いたり海に行ったり、黒糖を作ったり、それぞれ民家先によって体験が違ったそうです！1日だけですが、普段の生活とは異なった暮らしを送りながら、沖縄の文化を学ぶいい機会になったと思います。